



TEAM WORLD CUP  
WHEEL GYMNASTICS  
第9回世界ラートチームカップ

# ラート情報誌「わっ！」

第53号 2019年 6月

ラート協会オフィシャルホームページ <http://www.rhoenrad.jp> e-mail [office@rhoenrad.jp](mailto:office@rhoenrad.jp)



## 第9回世界チームカップ



photo by K.takezono



photo by K.takezono



photo by Masaru Watanabe

4月21日秋田県立体育館にて、第9回世界チームカップラート競技選手権大会が開催されました。日本で初めて開催されたラートの国際大会、会場は3000人もの観客で埋め尽くされ、大歓声の中選手たちは演技を行いました。各国今までにない高難度の技のオンパレード、大接戦の中、日本チームはみごと準優勝という結果をおさめました。

### 【結果】

1位	ドイツ	21ポイント
2位	日本	20ポイント
3位	スイス	19ポイント
4位	オランダ	15ポイント

選手（種目）	得点
高橋 靖彦（直転）	10.35
森 大輔（斜転）	9.80
堀口 文（直転）	11.10
松浦 佑希（跳躍）	9.15
堀口 文（斜転）	9.35
高橋 靖彦（斜転）	11.20

結果詳細: <https://rhoenrad.com/events/2019-team-world-cup/>

日本選手団の感想を紹介します。



### 【デリゲーションリーダー】

🇯🇵 本谷 聡 筑波大学 🇯🇵



photo by K.takezono

本イベントの検討・準備は、2年前の全日本2017後に開催されました日本ラート協会理事会において、ワールドカップの日本誘致への内諾を頂いたことから本格的に始まりました。その後、IRVとの何度も議論を重ねた結果、IRVから最大限の支援を得られることを条件に、2018年3月13日にIRVと日本ラート協会の間で開催に関わる契約書を交わすことができました。そして、その夏の5月、スイスで開催された世界選手権2018の総会において、加盟国に対し、大会の全貌についてプレゼンを行うとともに、世界選手権の閉会式ではIRV会長よりワールドカップ開催のためのオープンキーを受け取るセレモニーが実施されました。

帰国後、いよいよ本格的な準備段階に入り、7月には日本から国際審判員をひとりでも多く輩出すべく、ドイツよりIRV審判責任者のミリアム氏を招き、IRV主催の国際審判員講習会をつくばで実施させて頂きました。その11月には秋田で実行委員会が立ち上がり、準備がさらに加速されることになりました。その後はおそらく皆さんが御存知の通りだと思います。そして、大盛況の大会を実施することができました。

最後になりましたが、これまで日本ラート界に関わりを持って頂きましたすべてのの方々に感謝申し上げます。また、私にとって、壮大な夢のひとつを叶えさせていただきました。そして、本大会の開催をもって、日本が世界のラート界における主要国のひとつに本当の意味でなれたと確信しています。ありがとうございました。



## 【選手】

### ● 高橋 靖彦 秋田ノーザンハピネッツ倶 (直転・斜転) ●



photo by Masaru Watanabe

った方々には、本当に感謝しかありません。可能な限り、経験をラートの未来に還元できればと思います。

大会を振り返りつつ、まだ行政手続きや協賛企業様への御礼の挨拶回りに取り組んでいる状況ですので、引き続き責務を全う致します。今後もラートの発展のために力を尽くしたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

まずは本大会に携わった全ての皆様に心から御礼を申し上げます。一人一人の力が結集したからこそ、難しいと言われていた国際大会が実現できたことに間違いありません。

今回は選手としての出場に加えて、大会事務局としてここでは書ききれない数々の経験をしました。何度も心が折れかけました(折れていたかもしれません)が、大変な時こそ力を貸してください

### ● 堀口 文 筑波大学特任助教 (直転・斜転) ●

私が初めて世界選手権に出場した2011年、その頃から(おそらくもっと前から)「世界大会を是非日本で開催してほしい」という海外選手からの声が沢山ありました。その時は、実際に日本で世界大会を開催できる日がくることは想像もしていませんでした。そして、その記念すべき大会に自分が選手として出場するというのも。当日は、日本のラート界からも沢山の方が遥々秋田まで応援に来てくださり、世界大会の会場に日本人サポーターの皆さんがいることがとても嬉しく、心強く、夢のような時間を過ごすことができました。演技に関しては、これまで一番こだわりを持って取り組んできた直転でほぼ完璧な演技ができました。もちろん、欲を言えば全ての種目でノーミスの完璧な演技をしたかったというのが本音ですが、これは次回大会への課題としたいと思います。

この場を借りて、ご支援、ご声援くださった全ての方々に御礼申し上げます。本当にありがとうございました。今後とも応援宜しくお願い致します。



photo by Masaru Watanabe

### ● 松浦 佑希 宇都宮大学・筑波大学大学院 (跳躍) ●



photo by Masaru Watanabe

まず、日本初開催の世界大会に選手として参加させていただけたことに本当に感謝しています。

大会を運営するために本当に多くの方が様々な形で関わってくださっていることを身に染みて実感し、自分がどれだけ恵まれた環境に居て、そして応援してくれる方々もいるということが、どれだけ幸せなことかというのを改めて考えさせられました。

今回は跳躍で出場させていただきましたが、実施した技を世界大会で認定してもらえたことが本当に嬉しかったです。

大会に至るまで、大会期間中も本当に多くの方々に様々な形でサポートや応援をいただき、このような結果を残すことができました。

関わって支えていただいた方々には感謝してもしきれないですが、この場をお借りして感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

### ● 森 大輔 たまラートクラブ (斜転) ●

本大会の開催にあたりご尽力頂きました関係者の皆様に改めて御礼申し上げます。この大会に選手として参加でき、たくさんのラート関係者の皆様に応援して頂いたことに対し御礼の一言では言い表せない気持ちです。

私はこれが9回目の国際大会でありましたが、今回は初の国内開催ということで今までにない特別な気持ちと向き合いました。

このような経験をさせて頂いたことに感謝すると共に、ラート関係者の皆様に恩返しできればと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

photo by Masaru Watanabe



photo by K.takezono



photo by K.takezono



photo by K.takezono



photo by K.takezono

## 【コーチ】

### ● 吉行 暢子 筑波大学体操部OG ●



はじめに、この大会開催にあたりご尽力頂いた秋田ノーザンハピネッツの皆様、秋田県、秋田市のスポーツ振興課の皆様、競技役員として協力して下さった皆様、応援して下さった皆様、関わって下さった全ての皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

初めての日本開催の大会はたくさんの方が来場して下さり、大盛り上がりでした。こんな中で演技ができる選手たちが羨ましくもあり、また微力ながら選手の補助など選手団の一員として関わられたことを嬉しく思います。選手のみならず、感動をありがとうございました。

この大会を機に、またラートの輪が広がることを願っています。

### ● 吉永 直嗣 筑波大学OB ●



記念すべき日本初の国際大会に、コーチとして参加できたことをとても嬉しく思います。実は日本での開催が決まった当初、コーチとしてではなく観客として応援に行こうと考えていました。しかし、選手からの要望を受け、再びコーチとして参加する決意を固めました。大会前はなかなかスケジュールを調整できず、選手の練習を見る機会を多くとることができなくて申し訳なく感じていましたが、どの選手も本番までにしっかり調整してくれました。

大会は予想はるかに超える盛り上がりで、選手のモチベーションも非常に上がったと思います。日本でしかもラートをあまり見たことがない人が多く、正直盛り上がるか不安だったのですが、いい意味で期待を裏切られました。しばらくは他国での開催が続くと思いますが、また日本で開催される日を楽しみにしています。

## 【国際審判員】

### ● 宗 遼平 日本ラート協会指導員養成部会 ●



本大会において、大会運営に携わった多くの方々に感謝いたします。また、ご支援いただいた皆さまからの力強いサポートに、心より厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

これまで、日本代表団は国際大会での審判員の派遣を十分に行えておりませんでした。本大会で国際審判員を複数名選出できたことは、日本ラート協会だけではなく、国際ラート連盟においても非常に意義のあることであったと思います。

国内初の国際大会の実施という経験を生かし、ラートのより一層の普及と発展に寄与してまいります。今後ともよろしく願いいたします。

### ● 西井 英理子 日本ラート協会事務局 ●



日頃より、日本ラート協会会員の皆さま初め、多くの方々には、協会の活動へのご協力、ご支援を賜り誠にありがとうございます。この度、ラート愛好者の皆が夢見ていた日本での国際大会開催が現実となり、無事に終えることができました。これまでの長い年月、協会の活動を支え続けて下さったラート関係者、皆様のお陰です。本当にありがとうございました。

今後とも、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### ● 檜皮 貴子 新潟大学 ●



私が最後に世界の舞台上で演技をしたのは2011年の世界ラート競技選手権大会でした。その後は、学生や子どもたちにラートを指導しながら、世界の舞台とは少し離れたところで、ラートの活動をしてきました。今回は、日本で初めて開催された世界大会に審判として派遣していただき、大変光栄に感じております。

選手ではありませんでしたが、会場にいるとあの頃の情熱や緊張感が見事に蘇ってきました。その中で、審判として経験した全てのことは、今後の私のラート指導にも繋がっていくと考えております。

同世代で競技をしていた選手がコーチや審判として、まだ幼かった選手が立派な代表選手として、来日していることにはとても不思議な感覚にもなりました。日本で再会できたことは本当に嬉しいことでした。

この度の舞台を作り上げて下さった全ての方々に厚く御礼申し上げます。そして、日本国内でいつもご支援くださっている皆様に心より感謝いたします。

今後とも日本チームへのご声援をよろしくお願い申し上げます。



Photo by K.takezono



Photo by K.takezono



Photo by K.takezono



● 古屋 欣司 筑波大学 OB ●



私は今回、審判として参加させていただきました。本大会は、想像していたよりも多くの方に見て頂くことができ、審判の私も非常にうれしく思いました。関係者各位、ならびに応援していただいた多くの方々に深く感謝申し上げます。

およそ 10 年前に選手としてチームカップに参加した私にとって、今回審判として関わったということは、非常に感慨深いものでした。初めての国際審判であり、どのような視点で採点をしているのか、たくさんの学びがあり貴重な経験となりました。今回の経験を、今後国際大会で活躍する日本の選手に伝えていければと思います。また、国内の競技の発展にも微力ながらお役に立てるよう努めたいと思います。この度は、ご支援誠にありがとうございました。

● 松本 陽一 東海大学 OB ●



私は過去に何度か、日本ラート協会の代理で IRV の会議に出席したことがあります。次の候補地の話題になると必ずと言っていいほど「いつ日本で開催できるのか？」という声があがりました。日本代表選手も、毎回大会のたびに大会参加者から同じことを尋ねられていたことでしょう。

今回秋田で国際大会が開催され、当時のことを思い返し、とても感慨深い気持ちになりました。開会式に大塚会長が仰った「夢のようです」というお言葉、まさにその通りだと感じました。

大会準備や運営にご尽力いただいた方々には感謝しても足りない思いでいっぱいです。また、応援いただいた皆様、本当にありがとうございました。

日本での国際大会が今回の秋田で最後にならぬよう、今後もラートの発展に力添えしていきたいと思います。

また今回、初めて国際審判員として参加し、大変貴重な体験をさせていただきました。2020 年には規則の大きな変更もあります。今後もラートやシルホイールのルールに関して勉強していきたいと思います。

【デリゲーションリーダーアシスタント】

● 但馬 絵美子 ラートサークル SAKURA ●



秋田県立体育館は多くの観客でうまり、沢山の歓声があがっていました。日本人選手に対してはもちろんのこと、全ての演技、デモンストレーションに対しての大きな拍手、応援の温かい気持ち、会場は熱気にあふれていました。このような素晴らしい大会、記念すべき日本初開催の国際大会に、選手団の一員として参加させていただいたことをとても光栄に思います。皆様、応援ありがとうございました。

よりよい演技を追求し練習に取り組む選手、責任のある任務と規則の勉強に励む審判員、選手の練習を支えるコーチ、応援に駆け付けてくださったラートフレンズ、観客や海外からの選手団にとって素晴らしい体験になるよう準備をする大会役員やボランティア…様々な立場でチームカップに臨む方々と、ラートや大会に関する想いを共有できたことをとても嬉しく思っています。

次の世界選手権大会は NY で開催です。次回も選手や選手団をサポートしたい！！こう強く思う今日この頃です。これからもラートの輪を広げていけるよう活動していきたいと思います。

☆ 選手団の様子はこちらのサイトでご覧いただけます。

ラート日本代表選手団 facebook ページ: <https://www.facebook.com/rhoenradJPN/>

✻ ✻ ✻ ✻ ✻ ✻ 「あたたかいご支援をありがとうございました。」 ✻ ✻ ✻ ✻ ✻ ✻

この度、第 9 回世界ラートチームカップ大会日本代表選手団及び、大会運営のために、あたたかい応援金を賜りまして誠にありがとうございました。ここにお礼申し上げます。

～ ご支援いただいた方 ～ (五十音順)

安西映子様、伊佐義史様、石垣京子様、市川楠子様、大塚隆様、岡田千栄子様、加藤和子様、護得久笑子様、竹園明日香様、田沢恒夫様、但馬敏子様、田村千佳子様、長谷川聖修様、堀江正太様、本村三男様・みどり様、渡邊直哉様

こもねカップ (こもねカップ 2019 運営委員会主催) 国立大学法人筑波大学附属桐が丘特別支援学校体育館にて堀口選手・松浦選手・森選手が出演し温かい声援をいただきました。

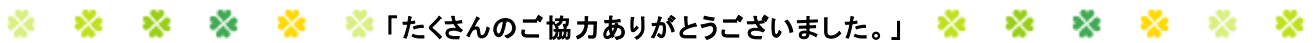


photo by K.takezono



こもねカップ 2019 運営委員会の代表小山信博さん  
チームカップ当日、  
秋田のローカル番組で  
ラートの解説を担当されました

こもねカップ開催、  
ありがとうございました。



「たくさんのご協力ありがとうございました。」

この度、第9回世界ラートチームカップ大会の運営に、たくさんの方々から様々なご協力を賜りました。特に競技役員として尽力下さった方々、誠にありがとうございました。ここにお礼申し上げます。

～ 競技役員としてご協力いただいた方 ～ (五十音順)

相原奨之様、阿久津開様、安部夏月様、石井涼香様、井上咲子様、上地陽史様、瓜兼汐里様、遠藤柗人様、遠藤茉奈実様、大島未都来様、加藤玲様、金井茂樹様、狩野莉奈様、菊池月様、北原葵様、熊谷涼様、小出奈実様、佐伯奏美様、坂優希乃様、佐々木大地様、佐藤楓様、三膳綾花様、篠原智恵利様、白川敦士様、新庄祥弘様、諏訪多江加様、宗遼平様、竹園孝太郎様、但馬絵美子様、田村憲一様、中井美月様、中村圭太様、中村楓香様、萩原沙里奈様、肥田泰治様、煙山千夏様、檜皮貴子様、深瀬友香子様、深谷仁美様、藤本誠二様、船木ふみ子様、船木結人様、富名腰真子様、古屋欽司様、堀口文様、前原千佳様、松浦稜様、松本陽一様、宮本梨乃様、本島淳夫様、山田光穂様、山本悠加様、吉田望様、吉行綾子様、吉行俊郎様、吉行暢子様、米子佳蓮様、渡辺勝様、渡辺理沙様、Tony Nelson 様

## 目指せ名人！第5回ジュニアラート大会

2019年9月29日(日)開催

2014年にプレ大会が行われ、今年第5回を迎える「目指せ名人！ジュニアラート大会」この大会に参加して、ラートの楽しさに触れたり、ラートフレンズができたり、またこの場で活躍した選手が日本代表に選出されたり…ジュニア選手の交流の場、活躍の場、成長を促す機会となっています。



大会は「競技部門」と「チャレンジ部門」があり、ラート経験者や全日本選手権出場を目指す選手はもちろんのこと、初めてラートに触れるチャレンジャーの皆さんも、楽しみながら参加することができます。

お友達、ご近所さんを誘って、ラートの輪を広げてみませんか???

詳細は同封の要綱をご確認ください。

### 【事務局便り】

#### ◎ 今年度の主な行事

- |                        |                    |               |
|------------------------|--------------------|---------------|
| ・ 第15回全日本学生ラート選手権大会※1  | 日程：8月24日(土)～25日(日) | 場所：新潟大学       |
| ・ 夏季ラート実技講習会 (学生向け)    | 日程：8月26日(月)～27日(火) | 場所：新潟大学       |
| ・ 夏季ラート実技講習会 (一般向け)    | 日程：9月7日(土)～8日(日)   | 場所：手賀の丘少年自然の家 |
| ・ 目指せ名人！第5回ジュニアラート大会※2 | 日程：9月29日(日)        | 場所：手賀の丘少年自然の家 |
| ・ 第25回全日本ラート競技選手権大会    | 日程：1月25日(土)～26日(日) | 場所：つくばカピオアリーナ |
| ・ 春季ラート実技講習会(一般向け)     | 日程：3月7日(土)～8日(日)   | 場所：手賀の丘少年自然の家 |

※1 「全日本学生ラート選手権大会」は、全日本学生ラート競技選手権大会実行委員会主催の大会です。

全日本学生ラート選手権大会詳細はコチラ → <http://rhoenrad.blog.shinobi.jp/>

※2 「目指せ名人！第5回ジュニアラート大会」は、目指せ名人！ジュニアラート大会実行委員会主催の大会です。

詳細は要綱をご確認ください。お問い合わせはこちら → [meijin\\_rato@yahoo.co.jp](mailto:meijin_rato@yahoo.co.jp)

### 【編集後記】

世界チームカップ… あっという間に終わってしまいました。本当に楽しくて、夢のような時間でした。もちろん、準場はあっという間…ではなく、本当に大変だったと思います。大会運営、海外選手向けの観光、応援に来てくださった皆さん、多くの方の力があり大会が成功しました。たくさん笑顔を見ることができて、日本で開催できて本当によかった… こう思う今日この頃です。

大会、講習会など、また日本にラートの国際イベントを招致できる日がきますように！

日本ラート協会広報部会委員 但馬 絵美子



国際教養大学の学生さん、角館高校の生徒さん、IRV 役員や海外選手団のツアーアテンドありがとうございました。